

事業所名 グループホーム小町

運営推進会議等開催報告書

開催日時 令和 7 年 8 月 22 日（金）14 時 00 分～14 時 50 分		
参 加 者		議 題
利用者	0 名	1 行事報告
利用者家族	0 名	2 今後の行事報告
地域住民の代表者	0 名	3 入居者様状況報告
市職員	1 名	4 身体拘束適正化検討委員会の議題について
地域包括支援センター職員	1 名	5 質疑応答・感想
事業所	3 名	6 次回会議開催予定日
会 議 録		
1. 行事報告について 《2025 年 7 月》 ・ 7 日…七夕行事を行いました。 ・ 27 日…入居者様のお誕生日会を行いました。 《2025 年 8 月》 ・ 4 日…訪問理美容がありました。きれいさっぱりして頂きました。 ・ 26 日…屋台風の様式で昼食・スイカ割りをして夏祭り行事を行いました。 2. 今後の行事予定 《2025 年 9 月》 ・ お誕生日会・敬老会行事・秋祭り行事・消防避難訓練を予定しています。 3. 入居者様状況報告 ・ 入居者様 9 名 （男性入居者 0 名 女性入居者 9 名 ） ・ 平均年齢 89 歳 （最低年齢者 83 歳）（最高年齢者 98 歳） ・ 平均要介護度 2.89 4. 身体拘束適正化検討委員会の議題について 議題「食事拒否による身体拘束を行わない為の介護」について 認知症の人が食事を拒否したり飲み込めずに食べられないなど、食事をするのが難しいことがあります。この現象は様々な理由が考えられます。認知症が進行すると、ご本人から上手く伝えられないこともあります。食事拒否や食べられないなどがあった場合、一方的に「いま食べてください！」などと言ったスピーチロックをしたり、無理やり食べさせる・食べるまで席を立たせないなどと言った行為は身体拘束につながります。今回は食事拒否があった場合の原因や対処方法を考察していきます。		

食べない原因とは何か？

食事を摂らない原因は認知症の症状だけではなく身体的・精神的要因もあります。様々です。一般的に考えられる原因がいくつかあります。

1 食事の意味が理解できない

物事が認知できずに理解できなくなることを「失認」と言います。失認によって食べ物が認識できないことがあります。また箸やスプーンの使い方がわからないなど、行動・実行することができない「失行」という症状もあります。食事があっても食べ方が分からなくなるということもあります。

2 無気力・無関心・抑うつによって食欲がない

認知症の心理・行動症状（BPSD）のひとつに無気力になったり無関心になったりする症状があります。認知症の人がこの様な状態になると食べる意欲が失われ、食事にも興味を示さなくなっていくます。また認知症の人が末期になると寝たきりとなることが多く、ますます食事を摂らなくなっていくます。気分が落ち込んでいく抑うつの状態によっても食欲がなくなっていくことがあります。

3 意思を伝える事ができない

認知症の人の中には言葉によって上手く意思を伝える事ができない人がいます。体調が悪くても上手く言葉にして伝える事ができない人や、口の中が痛い・歯が痛いなど、痛くて食べる事ができない人もいます。

4 環境が落ち着かない

食事をする環境に対して居心地が悪いということがあります。音楽やテレビの音が気になる・目の前に座っている人と相性が合わない・他の人の話し声が気になって食欲が減退してしまう・寒暖差などによることもあります。またテーブルの高さが違っていたり、食事をする姿勢が悪かったり、食器が持ちにくかったりなど、食べづらい環境も食事拒否となる原因のひとつとして考えられます。

5 ADL(日常生活動作)の低下

高齢になっていき、身体機能や認知機能が徐々に衰えてくると、ADLの低下が出てきます。筋力の衰えなどから椅子に座っている姿勢が保てなくなってくることもでてきます。その様な人が食事をする際に、座って食べることが難しくなったり、1人で食べる事が難しくなってくることもあります。また摂食・嚥下機能の低下や消化器官の老化も進行していきますので、誤嚥になって食事が億劫になり食事意欲が減退したり、胃や小腸での消化・吸収も効率が悪くなったり大腸の働きも悪くなり便秘・下痢になることも考えられます。

6 薬物の影響

服薬しているお薬によっては味覚が変化することもあります。また食事中に眠くなってしまうことも考えられます。

食事拒否や食事をしない時には、支援する側はどうすれば良いのか？

1 無理に食べさせない

食事をしないからといって無理やり食べさせるという行為はフィジカルロックにつながる行為になります。また食べたくもないのに「いま食べてください！」という言葉掛けなどはスピーチロックであり、身体拘束につながる行為になります。加えて、無理やり食べさせてしまうと、誤嚥のリスクもありますし、咀嚼せずに食べてしまえば、便秘や下痢の原因となることもあります。きちんと食事を摂るという事は大切ではありますが、必ず認知症の人の立場になって考えて行動することが重要です。食事をしないのは何か理由があります。時間をずらしてみるといったことや、場合によっては食べて頂かないという柔軟な対応も必要となります。

2 話を聴いて体調を確認する

体調が悪かったり、口腔内に問題があって食べられない場合があります。そういった場合はお話を聴いたり、体調のチェックをします。便秘や下痢の場合、スッキリすると食事をする場合があります。

3 スピーチロックをしない・怒らない

認知症の人には、そもそも食事という事を認識できていないことがあります。また食事をする動作に時間がかかることさえあります。その様な時には命令したり、責めたり、怒ったりしても解決はしません。むしろ食事に対するマイナスイメージが心に残ってしまい、ますます食事が嫌になってしまうことにつながります。気持ちに余裕を持っておおらかに心穏やかに接する努力が必要となります。

4 環境を整える

テーブルの高さを変えてみたり、食事が食べやすい位置にあるかを確認したりすると食事がスムーズにできることがあります。また車椅子に座っている人の場合は、背中にクッションを挟んだりするなど、食事しやすい姿勢が取れる様に工夫することも効果的です。

5 食事形態を変える

例えば皆さんと同じ様にお茶碗にご飯を入れてお出ししても召し上がらないことがあります。それはお茶碗に入っているごはんが箸では掴みにくくて、食べようとしてもすぐにこぼしてしまって嫌になっていることもあります。ご飯が嫌いになったわけではなくて、ごはんが上手く掴めなくてこぼしてしまうから、食べることを諦めていることがあります。そういう場合は、ごはんをひと口サイズに丸めてミニおにぎり風にすることや、スプーンを用意することも効果的です。

まとめ

食事拒否の際に、その原因や対策を考えずに「食事の時間だから食べて頂く」といった強引な考えや、言葉で意思が伝えられず、支援なしに食べる事ができない認知症の人に対して無理やり食事を食べさせたり、食事に対して命令口調や怒るという言動は、身体拘束であるスピーチロック(言葉による拘束)となります。グループホーム小町ではそのようなことがない様に食事の時間も「ゆったり・にっこり・1日を」という理念のもと、利用者様のお話を聴いたり、状態の変化を日々観察しながら、利用者様のペースに合わせて今後もチームアプローチを続けていきます。

5. 質疑応答

質問①「食事拒否による身体拘束を行わない介護」の講義についての感想です。食べないと生命に関わるという視点から考えると、対応がとても難しいことだと思いました。当事業所でも、過去に食事拒否がある利用者様に対して、毎食時幕の内弁当をイメージして弁当箱につめてみたり、ごはんの上にあんこを乗せたり、うなぎのたれをかけたりすると食事がすすむことができました。なんとか食べて咀嚼する機能を維持するための工夫を、楽しみながら行っていけたらよいと思います。（ふたば地域包括支援センター様）

→アイデアありがとうございます。小町でも、白いごはんの認識が難しい利用者様に、黒い食器を使用することでごはんを認識することができ、ご自分で召し上がっていただけることができました。いろいろなアイデアを共有しながら利用者様ができるだけおいしく食事ができるような工夫を続けていきたいと思います。（グループホーム小町）

質問②運営推進会議の参加者について、目的の一つに地域の方からの助言、交流があることから考えると、メンバーが薄いというのが課題。ご家族様は会議以外の場でも個別に助言をもらう機会があるが、地域の方ともなんらかのつながりがあるといい。水南自治会に顔を出し、声をかけて参加をお願いしてみるなど検討してみてはいかがでしょうか？（瀬戸市役所高齢者福祉課様）

→他事業所ではどのような方に運営推進会議に参加していただいているか参考に教えていただきたいです（グループホーム小町）

→民生委員、町内の役員、地元の会社の人、お店の人など参加があります。（瀬戸市役所高齢者福祉課様）

→検討し、参加をお願いしてみようと思います。助言ありがとうございます。（グループホーム小町）

質問③利用者様が食事をする際、エプロンを使用していないようで感心しました。（ふたば地域包括支援センター様）

→できる限りエプロンを使用しないよう努力しています。現在使用している方はいらっしやいません。今後も定着できるよう続けていきたいと思います。（グループホーム小町）

→自宅でエプロンを使用する方はいらっしやらないし、汚れれば拭けばいい、または着替えればいいと思う、そのような気づきや考えがあり、取り組んでいるところが素晴らしいと思いました。（ふたば地域包括支援センター様）

6. 次回会議開催予定日

2025 年 10 月 24 日（金） 14:00 開催予定